

# Principal Correspondence

## 2019 年は「GIVE AND GIVE」でいきましょう

あくまでアメリカの話で過激な表現？ですが

アメリカの心理学の研究ですが「金持ちのほうが人を信用し貧乏人は疑い深い」という成果があります（『残酷すぎる成功法則』飛鳥新社，エリック・バーカー著，橘玲/竹中てる実訳）。反対に日本では何となく，貧しい人は「清く正しく美しく」で，金持ちは「腹黒い」という観念があります。アメリカでは「人を信用し，楽天的で，一方ではうそを見抜き，情に流されず，顧客に誠実公平で，差別をしないことを体現した人」が成功しやすく，逆に「悲観的で疑い深く，だまし，うそをつき，情で何でも判断し，差別感をもつ人」が成功しないのは何だかわかるような気がします。

お金だけで成功や幸せは測れるものでなく・・・



「ただの金持ち」より，仕事を通じて社会に役立ったり貢献していると実感したり，研究成果を役立てたりする人のほうが自身の幸福感が強いことも一方の研究で明らかになっています。世の中「GIVE AND TAKE（施した分だけ返してもらう）」と言うのは基本なのですが，幸せになる人は「GIVE AND GIVE」の人が多いの事実です。そういう人に人望が集まり，助けてくれる人も多いからです。

正しい事をやっていくことは，しばしば自己犠牲を強いられたり，禁欲的に何かを我慢したりと，マイナスや損ばかりと考えられがちです。

しかし，長期的に見るとずっと効率が良く，最終的には自分のプラスになるのです（『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか?』光文社，山口周著）。「短期的には利己的な行いは利益を上げるが，最終的には良心的な行いが勝利を収める」（『残酷すぎる成功法則』飛鳥新社，エリック・バーカー著，橘玲/竹中てる実訳）。

アルガンとカユックと言うフランスの経済学者の研究によれば，

「一般的に人は信用できる」と思っている人が多い社会のほうが経済成長率は高く，他人に親切にするという躰を受けて育った子どものほうが，そうでない子どもより平均で 30 万円年収が高い（『競争社会の歩き方』中央公論新社，大竹文雄著）と言うデータもあります。お金は人望に自ずとついてくると言うことでしょう。



幸せの条件は，自分の得意なことを職業にできて，社会に貢献し，回りの人に認められ，助け合う社会に生きることです。そのためには幼いときから「GIVE AND GIVE」を教えていきましょう。

# Principal Correspondence

## 新しい時代の幸せの鍵

### 人間の脳は原始時代のヒトとほとんど変わらない

人間の脳は、原始時代のヒトとほとんど変わらない（遺伝子は数百万年では変化しない）と言われます。よってヒトは、普通の環境（お母さんが赤ちゃんに話しかける）なら自然に言葉を覚え、子守唄を聞いて自然に音感を覚えることができます。逆に臨界期までに覚えなければ、一生言葉の発音や歌は歌えません。



また、ヒトの遺伝子には時代、人種、民族、国境を問わず誰も「同報を殺してはならない」と言う最高規範が埋め込まれており、さらに「同報の心や体を意味も無く傷つけてはならない。」とか「利益をもらったらお返ししなければならない。」「自分だけ利益を独占してはならない」「自分のみならず同胞を幸せにする。」などの遺伝子が共通して組み込まれています。そうした深層規範をベースにして時代や、地域、民族に応じて道徳や礼儀、あるいは宗教の戒律や法律ができています。

これに比べて「文字」はたかだか6千年前に発明され、遺伝子に組み込まれていないので、自然には身につきません。



学校などに行って勉強して覚えなければなりません。算数も同じです。臨界期までが一番記憶力が良く覚えが早いですが、文字・数はいくつになっても覚えられます。同じく貨幣経済も生まれて、たかだか数千年ですから、ヒトの遺伝子は金銭の多寡によって自動的に幸せを感じるようにはなっていません（多いに越したことはないのですが！）。

脳科学的にはヒトが幸せと感じるのは愛情空間や友情空間の中でみんなから認知された時だけだと言われます。

こんな話があります。（GRIDやりぬく力・アンジェラ ダックワース・ダイヤモンド社）レンガ職人に「今、何を造っているのですか？」と聞くと①「レンガを積んでいるんだよ」と答える人。②「教会を造っているんだよ」と答える人。③「歴史に残る大聖堂を造っているんだ」と答える人がいたとします。①は単なる仕事、②は技術者としてのキャリアに過ぎなく、③の答えのヒトは天職として「やりぬく力」が強く、疾病率が3分の1だと言うのです。こういう人は回りの人に認められ、回りの人を助け、幸せなのかも知れません。

2019年は平成も終わります。新しい時代を迎えて幸せになるために天職を求め、多いに愛を与える人になりましょう。

